

公共交通実証実験（デマンド型交通）実施計画

1 実証実験の目的

- (1) 公共交通空白地域における市民の移動支援と生活の質の向上
- (2) 既存公共交通の利用促進に向けた効果の検証
- (3) デマンド型交通の有効性と課題の検証

2 実験内容

- (1) 事業主体
S & D多摩ホールディングスグループ
- (2) 実施期間
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで（予定）
- (3) 運行区域及び停留所
別添「チョイソコあきる野停留所MAP」のとおり
- (4) 運行及び予約時間
運行：平日午前9時00分から午後4時00分
予約：平日午前8時30分から午後3時30分（乗車時間30分前まで）
- (5) 対象者
あきる野市網代、引田、湊上、上代継、下代継、野辺、小川及び草花のいずれかに居住し、会員登録した者
- (6) 運賃
200円
※ 障がい者の方と介助者の方1名の運賃は、障がい者手帳の提示により半額（100円）
- (7) 使用車両
乗車定員8人（運転手を除く）程度の普通車
- (8) 目標値
1日の利用件数 25件
- (9) 運行事業者
市内タクシー事業者
- (10) 事業費
約1,083万円

3 実験の周知

市ホームページ、広報、SNS等で周知するとともに、公共交通の利用促進に向けた意識啓発に努めるほか、必要に応じて住民向けの事業説明会、会員登録会等を実施する。

4 利用実態の把握

(1) 利用状況の検証

実証実験の実施と並行して利用状況を分析し、デマンド型交通の有効性と課題を検証する。

(2) 利用者の意見聴取

利用者へのアンケート調査により、利用目的、満足度、要望等を把握し、移動支援、生活の質の向上、既存公共交通の利用促進に係る効果と課題を検証する。